

## 収益の改善と経営基盤の再構築を着実に進め、 事業のグローバル展開と構造改革を 実行してまいります。

株主の皆様には、格別のご高配を賜わりありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは昨年秋に体質強化委員会を立ち上げ、収益改善と中長期的な体質強化への取組みを開始しました。さらに、本年5月には経営基盤の再構築と、収益の『安定』と事業の『成長』に向けた「2013～2015年度グループ中期経営計画」を策定し、その達成に向けグループ一丸となって取り組んでおります。こうした取組みの結果、当上半期の当社グループの業績は、後述の業績のご報告にてご説明させていただきますとおり、赤字を脱し、利益を確保することができました。

しかしながら、当社グループの経営基盤の再構築は、いま

代表取締役社長

川崎博也



だ道半ばであると認識しております。このため、先々の資金需要や財務体質なども考慮したうえで、中間配当につきましては、見送ることとさせていただきました。株主の皆様におかれましては、ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございませんが、事情をご賢察のうえ、何卒ご理解を賜わりますようお願い申し上げます。

足下の当社グループの取組みを申し上げますと、鉄鋼事業部門では、5月に米国で自動車用冷延ハイテン製造には不可欠な最新鋭の連続焼鈍炉の営業運転を開始したほか、長らく協議を進めてまいりました中国鞍山鋼鉄との自動車用冷延ハイテン製造拠点の合併事業に関し、正式調印を10月に行なっております。アルミ・銅事業部門でも、自動車用

アルミパネル材について、9月に製造拠点を中国に設立することを正式決定したほか、アルミ鍛造部品でも中国での能力増強が完了し、日米中の世界3拠点での鍛造部品一貫生産体制を構築することができました。

このほかにも、シェールガス革命によって廉価になった天然ガスを利用することで注目を集めているミッドレックスプロセスを利用した大型還元鉄プラントを米国で受注するなど、グローバル市場での事業展開を着実に進めております。

こうした取組みに加え、グループ中期経営計画で掲げた諸施策を実施することで経営基盤の再構築を図るとともに、鋼材生産の上工程を集約する鉄鋼事業の構造改革、圧縮機事業のグローバル展開や、燃料電池車向けの水素供給

ステーション向け商品の開発など機械系事業の戦略的拡大、さらには電力卸供給事業の拡大の検討などを推し進め、収益の安定と事業の成長を目指します。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年11月

※中期経営計画の詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

## 業績ハイライト(連結) (表示金額は、単位未満の数字を切り捨てております。)

